

八丈島をモデルとした 地域課題の解決にむけて

2022年4月14日

リードホテル&リゾート株式会社
代表取締役 歌川真哉



1. 自己紹介

歌川真哉（うたがわ しんや）

- リードホテル&リゾート株式会社 代表取締役/支配人
- 新潟県出身。1970年生まれ、2児の父。
ホテルマン時代に佐渡島のリゾートホテルに赴任しており、
離島の雰囲気や地域に根差した伝統文化や食文化が大好き
- リードホテル&リゾート株式会社 代表取締役
八丈島乳業株式会社 代表取締役
株式会社ハチジョウ 代表取締役
一般社団法人八丈島観光協会 副会長
NPO法人八丈島移住定住促進協議会 理事長



私の八丈島での15年間 2007～2022

2000年代

雇われ支配人として八丈島に赴任、その後独立
経営難だったホテル再建に夢中で取り組む日々

2010年代

売上倍増、八丈島随一のホテルに成長
ホテルを軸に観光インフラ／観光施設作りに奮闘

2020年代

アフターコロナを見据え、観光産業にとどまらない
移住定住促進等含めた社会基盤の強靱化に本格着手

社会基盤の強靱化（私の事業ポートフォリオ）

リードホテル&リゾート

代表取締役／支配人

- 観光インフラ
- 島内雇用維持／拡大

リードパークリゾート八丈島



ホテル リード・アズーロ
(施設老朽化により閉館中)



エコシステム
／シナジー形成

八丈島乳業

代表取締役

- 伝統産業保全／特産品開発
- 地産地消／食育



観光協会

副会長

- 滞在人口増／観光振興
- ワークーション促進/情報発信
- ブランドイメージの構築



移住定住促進協議会

理事長

- 人口／交流人口増
- 産業振興



フリージア・インフィオラータ

八丈島アート振興協議会 代表

- 文化振興
- 地域活性化/廃墟の活用



私の価値観 地域社会にとって有用な存在となる

工夫し、人力で乗り越えること

転換

仕組み化し、後世に残すこと

八丈島の未来のために、
個人や従業員のがんばりではなく、
仕組み化（PF化）すること

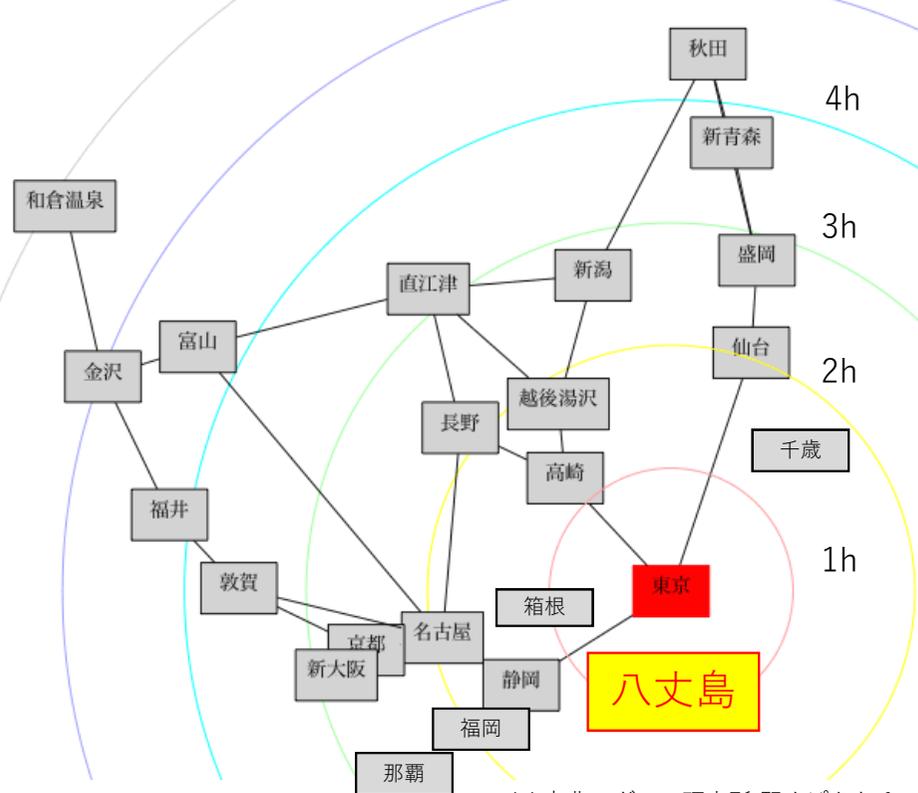
実現のために、課題・阻害要因を
徹底的に調べ、粘り強く解決すること



2. 八丈島の現状認識と課題

東京から一番近い通年型リゾート

首都圏（東京／羽田）
到達時間マップ



全日空さま 羽田直行便
毎日3往復、所要約55分
= 箱根・熱海と同じ距離感



※ 出典：ヴァル研究所 駅すばあと for WEB 2015「時間地図」をベースに羽田からの国内主要空港定刻所要時間を追加マッピング

存在感の低下

立地条件は良い、観光資源も豊富なはずだが・・・

● 国内離島 観光客ランキング

順位	島名	来島者数 (万人)
1	小豆島	112
2	石垣島	97
3	直島	71
4	佐渡島	53
5	竹富島	4
6	宮古島	43
7	対馬島	42
8	奄美大島	38
9	西表島	36
10	屋久島	30
≈		
18	大島	19
≈		
圏外	八丈島	9

高度経済成長期、観光客数は1973年がピーク
新婚旅行のメッカ「日本のハワイ」として繁栄

バブル崩壊による事業撤退・施設老朽化等で
来島者にとっての魅力が低下

来島者減によりさらに、
設備投資／プロモーションができない悪循環

2016年頃から観光客数は増加傾向にあったが
新型コロナにより、文字通り「壊滅状態」

聞こえてくる観光客の声

～魅力的な島であるのに何故来島者数は増えないのか～

- 宿泊施設・飲食店のレベルが低い。やる気が感じられない。
- 観光施設が老朽化している。目新しいものがない。
- 島民があたたかくない、歓迎されていない感じがする。
- 温泉の島をうたっているながら温泉宿がない。
- 地元の食材があまりない。
- 雨の日、悪天候の日にはやる事がない。
- 島内での移動手段（二次交通）の利便性が悪い。

聞こえてくる島民/移住者の声

～魅力的な島であるのに何故人口が減少するのか～

- 給与条件のよい職場が無い。
- 医療や子供の教育に不安を感じる。
- 借りられる家、購入できる家が少ない。
- 人間関係が難しい。閉鎖的な空気が嫌。
- 噂話、悪口が大好き。少し目立てばすぐTwitterに書かれる。
- 新しい事が否定される、保守的で閉鎖的な空気

八丈島の課題はなにか？

人口減少

その背景にあるもの

島民の意識

経済の縮小

行政サービスの低下

空き家問題

本心では島の発展を望んでいない

悪い意味での成功体験

高齢者が多く構造的な問題

税金で食べてる人の比率が高い

背景にある、島民の複雑な意識

- 来島者を増やそうとの共通認識は形成されているが、具体の危機感バラバラ
- 八丈島のアイデンティティ維持のため、活性化してほしくないと思う
- 人口減についても同様。急激な移住者流入による副作用の回避本能が勝る

地域課題 = 島民の意識変容は、丁寧なコミュニケーションや
地域活性化のモデル事例創出により解決できるのでは？



3. 課題解決にむけた取り組み

私が課題解決を通じてめざすこと

～島民の意識（空気）を変えてとやりやすくする～

- 日本有数の「魅力あるリゾート地」の再構築
- 八丈島の「交流人口・滞在人口」増加
- 本土のヒト・モノ・カネの「八丈島でのレバレッジ」

「仕組み化（PF化）」による課題解決

事業レイヤ

コンテンツ



- ① 八丈しまぐらし通信／SNS情報発信
- ② ミニFM局「アズーロFM」試験運用
- ③ ウクライナ難民支援
- ④ 企業誘致・起業の援助
- ⑤ 八丈高校の島外留学生誘致
- ⑥ アートを切り口にした施設の再生

and more!

明日葉のように
すくすくと
育っています！



アプリケーション

八丈島乳業

観光協会

移住定住
促進協議会

アート振興
協議会

プラットフォーム

リードホテル&リゾート

①しまぐらし通信／SNS情報発信



- 八丈島と人を「つなぐ」移住定住のための会報誌（フリーペーパー）
- 2022年より季刊⇒月刊に拡大、SNSでの情報発信と連動し運用

② ラジオ局の試験運用

- 東京島しょ部初のコミュニティFM開局を見据えた、ミニFM「アズーロFM」運用計画
- 遊休施設「ホテル リード・アズーロ」を活用
- 事業者とホテルスタッフが楽しみながら制作



1. 八丈島の対外発信/産業・観光振興/移住定住促進
2. 八丈文化の保全/継承/振興
3. 安心安全の島づくり、地域の共助機能の強化

● 八丈島の文化アセット

島ことば

島うた（民謡）

八丈太鼓

樫立踊り

③ ウクライナ支援

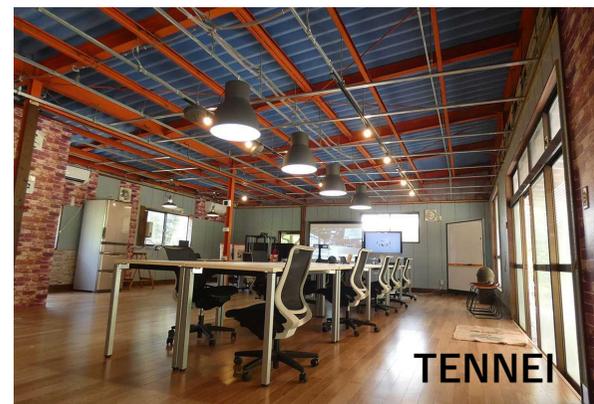
ウクライナ難民の受け入れ候補地として
島内民間施設活用を小池百合子都知事に提案



- ・ホテルスタッフが自発的行動で
チャリティーTシャツを企画
- ・5月にはファンドライジング
イベントを企画



④ 企業誘致・起業の支援



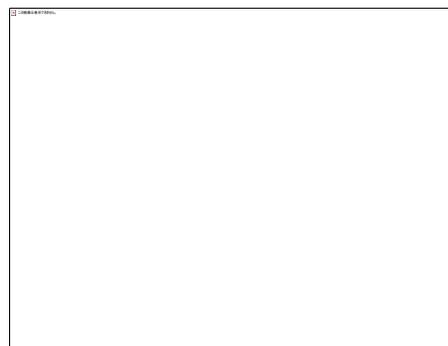
- ・ コロナ禍の中でテレワークが急速に普及。
- ・ 本土資本企業からの問い合わせが増えている。

⑤ 都立八丈高校への島外留学生誘致



- ・ 今春はホームステイ希望者20名以上だったが受入れ側の問題で2名のみ。
- ・ やる気のある優秀な島外学生を誘致。高校のレベルアップ、魅力化。
- ・ 学生寮・ホームステイ先確保のために行政連携。

⑥ アートを切り口にした施設の再生



- ・ 廃墟施設や遊休不動産を活用
- ・ 既存の観光施設・観光スポットをアートの切り口で魅力化
- ・ 目指すイメージは「瀬戸内国際芸術祭」「新潟・大地の芸術祭」

ステークホルダーさまへの期待



八丈町議会さまへ

- 八丈島のあるべき全体像の提示、自発的行動、行政とダッグを組んでの課題解決
- 行政取り組みに対する「加点法」への意識改革



町役場さまへ

- 都市消滅シナリオ回避のための「チャレンジ精神」、評価基準の見直し
- 住みたい、住み続けたい町づくりの探求、職員一人ひとりの「知恵出し」



金融機関さまへ

- 雇用／定住の受け皿構築に必要な積極的な投資への理解、伴走
- 伊豆諸島の雄としての、島しょ部の事業発展モデル形成にむけた枠組みづくり

子ども世代にバトンをつなぐために

面積/人口規模
閉じた離島環境

先端に行く
超高齢化
超空洞化

国/都の期待・
受け入れの風土

人口7,000人の八丈島は、日本の未来の縮図。

八丈島の未来は、日本の未来。

政・官・民が共同で、子どもたちに誇れる、

日本のモデルケースとなるような新しい道筋を示していきましょう。

おわりに：八丈島で伝え続けたい体験

感動絶景に会える島

屋上は
天然プラネタリウムです

のんびり島時間が
いちばんのご馳走

太古の森と豊かな水に
深く深く、癒される